

イベントの報告

第2回flier要約読書会

2月18日（火）19時から20時の間、経堂図書館ビジネスコーナーにて、第2回flier要約読書会を開催しました。8名の方にご参加いただき、ビジネス書の要約サービスflierの使い方を学ぶとともに、実際にその場で要約を読み、参加者同士で読書会を行いました。

全員で同じ要約を読み、読前・読中・読後に分けて話し合いを行い、要約を読む前後で自分の考え方がどのように変わったかというところを総括しました。たいへん意欲的な方が多く、読前から活発に話し合いが行われました。



展示コーナーのご案内

毎月、異なったテーマに沿って本の紹介をする、展示コーナーを館内に設けています。ご来館の折にはぜひどうぞ。

一般展示

図書館員のおすすめ

展示期間：3/14～5/14

ビジネス展示

ブランド

展示期間：2/21～4/16

展示場所は変動する場合がございます。ご了承ください。
展示場所：ビジネスコーナー付近のブックトラック

経堂図書館 ニュース

本の駅

2025年3・4月号
通巻79号



喫茶店と珈琲の価値

明治21年、東京・上野に日本初の喫茶店「可否茶館（かひさかん）」が開店。この日を記念して4月13日は「喫茶店の日」になりました。もりそばが1銭の時代に、コーヒーが1銭5厘、ミルクコーヒーは2銭だったそうです。気軽にコーヒーを楽しめるなんて、ありがたい時代になりましたね。

大人のための朗読会

ボランティア団体の朗読による『大人のための朗読会』を開催しています
※演目は、変更になることもあります。

3/6（木）10：30～
木洩れ陽 のみなさん

《演目》
「余白の隠れ家」 古宮九時
「飛鳥山」 藤沢周平

4/24（木）10：30～
朗読を楽しむ会「言の葉」のみなさん

《演目》
「化粧をする人」 冲方丁
「おぼろ月」 藤沢周平
「みどり色の記憶」 あさのあつこ

本館
です

開催場所：経堂地区会館本館
2階 第三会議室

開場時間：10：15
参加無料、事前申込不要、先着15名までです。
開催が急遽中止・変更になることもあります。

休館日のご案内

3月13日(木) ※第3木曜日祝日のため
4月17日(木)

Instagram



ホームページ
(世田谷区立図書館HP内)



世田谷区立経堂図書館

世田谷区宮坂3-1-30

Tel 5 4 5 1 - 0 0 7 1 FAX 5 4 5 0 - 1 0 8 8

イベントの報告

東京農業大学×経堂図書館 南極飯パワーで発見！ 南極未知の自然

2月8日（土）14時から15時30分の間、「食と農」の博物館にて東京農業大学と経堂図書館の連携イベントを開催しました。当日は天気にも恵まれ、18名の方にご参加いただきました。

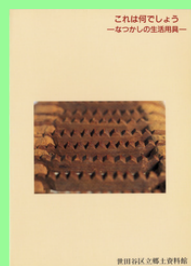
東京農業大学教職・学術情報課程准教授であり、第61次南極地域観測隊に参加された田留健介先生を講師にお招きし、南極の自然や観測隊を支えた南極飯などについて講演していただきました。講演後には企画展「南極飯！」の見学を行いました。

参加者の方たちは写真撮影を交えながら、田留先生の実感のこもった南極の経験や、企画展の解説に興味深そうに聞いており、内容にもとても満足していただけたようでした。



地域資料の紹介

『これは何でしょう—なつかしの生活用具 企画展—』



出版・編集/世田谷区立郷土資料館
出版年/1994年
請求記号/GA38

平成6年企画展図録。高度経済成長時、家庭用電気製品の普及によって、今ではなかなか見られなくなった生活用具を紹介。鯉節削り器や鬼おろしなど、現役で活躍中のご家庭もあるかもしれませんね。写真もたくさん掲載されています。

はっぴいコーナー

このコーナーでは、世田谷区の障がい者施設で作られた商品、「はっぴいハンドメイド」の紹介をします！

砧工房

マッシュポテト

お湯や牛乳で戻してから使う
乾燥タイプのマッシュポテトです。

「ビューレ・土・ポンム
(ジョエル・ロブション)」

鍋を火にかけ、ビューレを木のへらで掻き回しながら4~5分、水分を飛ばす。冷やして硬くしたバターを小さく切り、すこしずつビューレに混ぜ合わせる。全体が均一に滑らかになるまで激しく掻き回すことが重要。ミルクを沸騰させ、熱いまま少しずつ垂らすようにして加えながら、激しく掻き回してビューレにミルクを完全に吸わせる。

さらに肌理を細くするには、布製の細かい目の濾し網にかけて濾す。



¥150
(120g)

このレシピが載っている本
『玉村豊男のポテトブック』
玉村豊男著
朝日出版社
2023年刊 【616た】

図書館員からのおすすめ本

『東京の喫茶店 —琥珀色のしずく77滴—』

川口葉子著 実業之日本社 2011年 【596か】



東京には各町に必ず喫茶店やカフェがあります。値段も安いのもあれば高いものもある、そんな喫茶店には多くのお客が訪れます。メニューも昔ながらの「ナポリタン」や「ホットケーキ」や「クリームソーダ」。時に喫茶店やカフェは読書好きの人にも好まれる場所でもあります。有名どころでは神田・神保町「まぼろし」というお店。隣の「まぼろし2」では軽食も楽しめます。喫茶店に行くのが楽しくなる本です！

『喫茶おじさん』

原田ひ香著 小学館 2023年 【F1は】



会社を早期退職し、喫茶店めぐりを楽しむ57歳の純一郎。珈琲と共にスイーツや軽食を味わいつぶやく。おいしいなあ。うまいなあ。著者の原田さんが、実際に行ってみたかった喫茶店を訪れ、描いた本です。行ってみたいくなるお店ばかり。

テーマ：喫茶店

『お茶の科学—「色・香り・味」を 生み出す茶葉のひみつ—』

大森正司著 講談社 2017年 【619お】



緑茶・紅茶・ウーロン茶…さまざまあるお茶は、すべて同じ「チャ」の樹の葉からできたもの。製造過程で茶葉に多様な変化が起こり、そのお茶らしい色や香り、味が生まれます。「お茶のおいしさ」のルーツをたどり、その秘密に迫ります。科学でわかった「一番おいしいお茶の淹れ方」も伝授。カテキン・アミノ酸・カフェイン・ビタミン・ミネラル・ギャバなどストレスを軽減してくれます。体にいい成分が含まれています。ますますお茶業界から目が離せません！

『女給の社会史』

篠原昌人著 芙蓉書房出版 2023年 【S673し】



明治44年、新聞広告に銀座のカフェ「アラントン」がホール係の求人を出しました。「洋食店の女ボーイに被雇用」…女ボーイとは何とも奇妙な言葉ですね。これが女給の前身だそうです。ミルクホールは、お目当ての女給に会うために通う学生もいたとか。女給と喫茶店の歴史は意外と近いところがありました。

『コーヒープラネット—知られざる 各国のレシピと憩いの文化史—』

ラニ・キングストン著 和田侑子訳 グラフィック社 2022年
【596飲料】



カフェといえばコーヒー！全世界のローカルコーヒーの淹れ方はもちろん、コーヒーの文化史に詳しく、レシピ本としては異例の充実した内容でついつい読みふけてしまいました。コーヒーを巡る各国の写真もたっぷり紹介されているので、異国のカフェの雰囲気味わうこともできます。私はトルコのカフェに行ってみたくなりました。あなたのお気に入りの一杯ぜひ見つけてください。

『厳選500ジャズ喫茶の名盤』

後藤雅洋著 小学館 2015年 【764こ】



東京四谷の老舗ジャズ喫茶「いーぐる」の店主が、ジャズ喫茶で愛される500枚を厳選。基本のセレクションからはじまり、疾走感、存在感、ブルージーマ、音の厚み…etc. 円盤の内容紹介は対象の音を出しながら書いたそうです。巻末のアーティスト別データもお気に入りを探するのに便利です。